

白糠中 高校へ間借り

来年4月 校舎改修に合わせ1年間



来年度から白糠中学校が一時移転する白糠高校の校舎

高校生に給食無償提供

【白糠】2021年度に校舎の改修を予定している町立白糠中学校（佐藤毅校長）が来年4月から1年間、白糠高校（田村信明校長）の校舎に一時移転する。町立中学校の道立高校内への移転は釧路管内では初めて。これに合わせて町は、同高校で学校給食の無償提供を開始する方針。高校での学校給食の無償提供も道内では珍しい。（水谷友路）

生徒、教員同士 連携にも期待

町は白糠小と白糠こども園が付近を流れる茶路川の洪水浸水区域にあるため、白糠中への移転を計画。今年度到校舎の実施設設計を行い、21年度に改修、22年度に幼・小・中連携の一体型施設として開校する予定だ。工事のため白糠中の生徒の一時移転が必要となり、校舎が近い白糠高に空き教

室があることや、高校の魅力を中学生に伝えることにもつながるため、今年2月に町教委が道教委へ依頼し、移転が決まった。間借りに伴うカリキュラムは今後調整し、必要な予算についても計上する。

現在、白糠中は5学級82人、白糠高は4学級87人で高校側には中学生を受け入れるスペースが確保できるという。町教育委員会の川島眞澄教育長は「これまで

交流があまりなかった高校と中学の教員同士の連携につながる」とし、中学校では今年度中に高校の教員を招いた出前授業にも取り組む。「中学生にとって高校生がいる校舎で学ぶことは、高校の良さを知る非常に良いチャンスになる。進学にもつながれば」と話していた。

また、給食の無償提供は保護者の負担を軽減することや、地元食材への理解を深めてもらうことが狙いで、今月16日の議員協議会で了承を得た。